よこすか海岸通りリニューアル基本計画



令和4年3月 横須賀市

本事業の目的

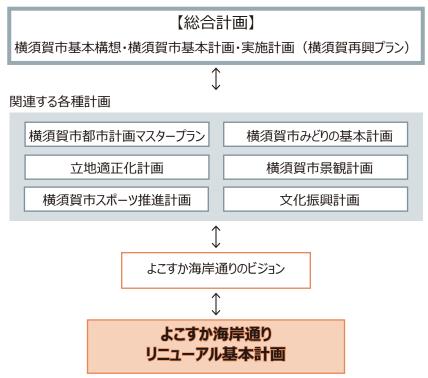
よこすか海岸通りは、1万メートルプロムナードの中で、うみかぜの路として市民に親しまれてきましたが、施設の老朽化により安全・快適な歩行空間が確保できない、道のあり方の変化から市民などのニーズに対応できていない、といった現状があります。

令和2年度には、よこすか海岸通りのビジョン (基本構想) を「安心・安全・快適な道」、「にぎわいが生まれる道」、「文化を育む道」として定めました。

本計画は、今後、「魅力的かつ親しまれる道」へとリニューアルを進めるため、海岸通りの街側を対象に、整備の考え方や導入機能について示したものです。

本計画の位置づけ

本市の総合計画や、関連する各種計画との整合を図りながら、よこすか海岸通りのリニューアル基本計画を設定します。



現状の課題

現在のよこすか海岸通りは多様な課題があります。リニューアルによりこれらの課題解決を図っていきます。

市の位置づけ

- ・歩いて楽しくなる雰囲気づくり
- ・音楽やダンスを楽しめる環境の創出
- ・交流や賑わいの場の創出
- ・安全・快適に利用できる空間の創出
- ・健康増進に資する場の創出
- ・津波避難への意識啓発や避難経路の確保
- ・海岸通りの情報発信
- ・個性ある景観の形成

社会動向

- ・多世代が連携した共助・互助
- ・公共空間の可変的・柔軟な利活用
- ・歩きたくなる・居たくなる道路の創出
- ・民間の創意工夫を活用した空間づくり

海岸通りや周辺の状況

- ・周辺施設との連携した取組の検討
- ・植栽による狭隘化や鬱蒼とした印象の解消
- ・既存モニュメントの活用
- ・周辺住民の生活環境への配慮

リニューアル基本方針

よこすか海岸通りのビジョンの実現や課題の解決を図っていくため、リニューアルでは以下の役割が必要とな ります。これらの役割を基に、リニューアル基本方針や整備方針を設定しました。

海岸通りらしさを生み出す役割

- ・連続した明るい緑により海らしさを感じられる 道となる
- ・既存のウォールアートやモニュメントを活かし た個性ある道となる
- ・海岸通り特有の文化を感じられる道となる
- ・東海岸の各拠点をつなぎ彩る道となる

多様なライフスタイルの実現 を支える役割

- ・音楽やダンスなど自分らしく楽しく過ごせる 場所となる
- ・仕事も学びも遊びもできる職住学遊近接な 場所となる
- ・多様な世代の健康づくりを支える場所となる
- ・緑の中で憩いリフレッシュできる場所となる

安全で快適な歩行や移動を支える役割

- ・歩行者・自転車分離による安全な歩行空間を 形成する
- ・地域の回遊を促す施設や移動手段を導入する
- ・津波避難に関する情報発信を行う
- ・明るくすっきりとした植栽により安全で快適な 歩行空間を形成する

地域の賑わい・交流・チャレンジ を支える役割

- ・地域の日常的な交流の場や賑わいの拠点となる
- ・地域の様々なイベントが開催できる場所となる
- ・市民や企業、行政が新しい取り組みを 始められる場となる
- ・市民が様々な活動を発信し、文化を育てる道 となる

魅力的かつ親しまれる道=みんなの暮らしの舞台となる道

社会環境やライフスタイルの変化に対応し、多様な使い方ができることで通過するだけでなく滞在されるような 新たな道路空間を形成するとともに、海岸通りらしさを感じられ、誰もが自分らしく過ごすことができ、 暮らしの一部となる地域の賑わい・交流の拠点

整備方針

リニューアル基本方針を実現するため、 5つの視点から整備方針を設定しました。

方針1

海岸通り らしい 風景をつくる

方針2

自分らしく 過ごせる 場をつくる

・明るい並木道と海辺らしさの形成 海岸通りらしさを感じられる通りの形成

方針3

地域のやすらぎ となる緑を つくる

・身近なストリート文化拠点の創出 ・誰もが多様な過ごし方ができる場の創出 ・地域の資産である既存の桜や松の保全 ・緑を活かした憩いの場の創出

方針4

地域や市民 の活動 ・快適な活動やチャレンジを を支える 場をつくる

方針5

地域の 安全·安心 を支える場 をつくる

・安全で移動しやすい 歩行空間の創出 ・津波避難に資する機能の整備

支える場の創出 ・地域の交流を支える場の創出

ゾーニング・導入機能・導入施設

既存樹を活かした緑豊かなゾーン (諏訪小学校前交差点~海上災害防止センター付近)

三笠公園やポートマーケットからのつながりに配慮し、既存の桜や松などの地域資源を保全するとともに、まちなかと海との場面転換を図り、海岸通りへ誘う顔となる緑豊かなゾーン

グリーンゾーンでは、周辺の三笠公園や、三笠ターミナル、横須賀フェリーターミナル、ポートマーケットなどにスムーズにたどり着けるよう、誘導サインを設置します。



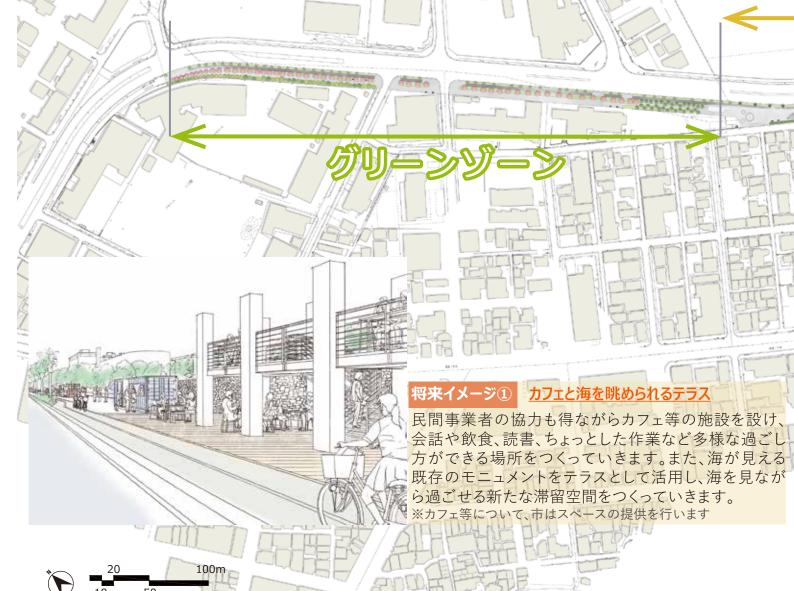
地域の方に親しまれている 桜並木の保全



地域の方に親しまれている 松並木の保全



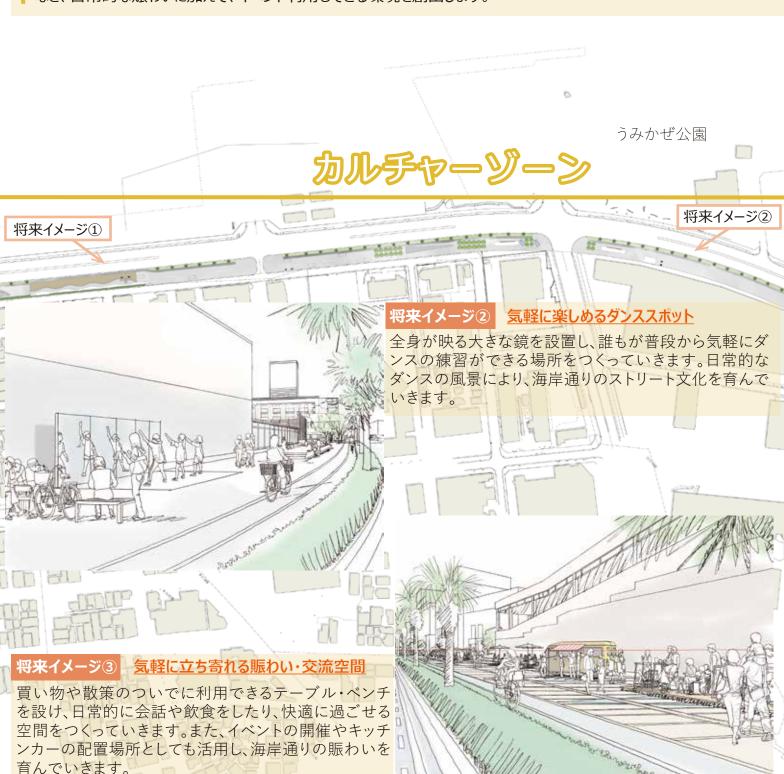
周辺施設への分かりやすい 誘導サイン



多様な楽しみがある海岸通りカルチャーの発信ゾーン(海上災害防止センター付近~平成町3丁目交差点)

海が見える特徴を活かすとともに、チャレンジショップやカフェ・コワーキングなどアートウォールと融合しながらストリートカルチャーを発信し、周辺の店舗やうみかぜ公園等とも連携しながら様々なイベントを開催するとともに、日常的にダンスや飲食等もできる賑わいの中心となるゾーン

カルチャーゾーンでは、ウォールアートなどの海岸通りらしさを融合させた新たな賑わい・交流・憩いのスペースを創出します。また、うみかぜ公園や大型スーパーマーケットが隣接している環境を活かし、イベントスペースや電源設備など、日常的な賑わいに加えて、イベント利用もできる環境を創出します。





新たな活気や賑わいを 生み出すチャレンジショップ ※市は設置スペースを提供



新たなアートによる フォトスポットの創出



周辺商業施設等とも連携した体験イベント



既存モニュメントを活用 したウォールアート等



キッチンカーやイベント等 に使える電源

将来イメージ③

リニューアル区域全体の導入機能

安全性の確保、アクセス性や回遊性の向上、

津波発生時のすみやかな避難誘導を促す機能を導入します。

また、海辺らしい景観を継承していくとともに、海岸通りの回遊性を高めていきます。



安心・安全に通行できる 歩行者・自転車分離



地域のアクセス性や回遊性を 高めるシェアサイクル



海岸通り内外の情報発信 を行う案内サイン

心身の健康増進・トレーニングゾーン (平成町三丁目交差点~三春町三丁目交差点)

周辺に住居が多い環境を踏まえ、軽スポーツやトレーニング、など地域の方々の身体的な健康を支えるとともに、学習環境や交流拠点の整備など心身の健康を支えるゾーン

ウェルネスゾーンでは、地域の方が日常的に運動をしたり、遊んだり、交流できる環境を創出するため、健康器具、短距離トラック、遊戯器具を導入します。



日頃からアクティブに活動できる遊戯器具



短距離トラック



日頃の軽い運動やトレーニング のための器具

ウェルネスゾーン

海辺つり公園

横須賀魚市場



津波発生時の避難を促す 避難・誘導サイン



海辺らしい風景を創出する ヤシの並木の保全



散策時の快適性を高める テーブル・ベンチ

事業の推進に向けて

法令・規制

道路整備や道路空間の多様な利活用に向けて、制度や補助の適用要件など、 今後の事業選択の中で最新の情報を確認していきます。

_______ 財源

リニューアルアイデアの実現には、相応の事業費がかかるため、今後は、現在の市の 財政状況を考慮し、公的資金や民間資金の活用も含め、財源の確保を柔軟に検討していきます。

_3__ 住環境

歩道に新たな賑わいを創出することから、近接住宅地の生活環境の保全を考慮する 必要があります。騒音やごみ、プライバシー確保などへ配慮しながら事業を進めていきます。

<u>4</u> ソフト展開

賑わいをもたらすためには、多様なソフト事業が必要です。事業推進には、民間事業者の 参加が欠かせないため、利活用のルールづくりなど、関係者の合意形成を図っていきます。

